

(2) 地域包括ケアシステムの構築

(P 4 1 に挿入)

案

2025年が目前となり高齢化が急速に進んでいる中、他人の支援が必須となった高齢者が「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される」よう地域で支援体制を構築することが求められている。この体制作りは高齢者だけでなく地域で支援が必要な人すべてに手が差し伸べられる包括的な支援・サービスの提供体制を目指す。

①支援の内容

- | | |
|------------------|---------------------|
| ○介護予防・日常生活支援総合事業 | 介護予防・生活支援サービス等 |
| ○在宅医療・介護連携推進事業 | 地域の医療・介護の連携強化 |
| ○認知症総合支援事業 | オレンジプランの推進 |
| ○生活支援体制整備事業 | 地域・民間団体一体の生活支援体制の創出 |

②支援の体制づくり

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| ○日常生活圏域の設定 | 中学校単位の4圏域 |
| ○介護給付の適正化 | 介護サービス利用の適正化 |
| ○地域包括支援センターの設置 | センターの拡充（中学校区まで?） |
| ○地域ケア会議の運営 | 第2層ケア会議、第1層ケア会議 |
| ○生活支援サービスの充実 | 第2層協議体、第1層協議体の設置
民間団体、NPO等の協力 |

③人的資源の拡充

- 生活支援コーディネータの増員配置
- 地域包括支援センターの要員（3職種）
- 認知症地域支援推進員の配置
- 認知症サポータの養成

重点施策	説明	現状	予定
包括支援センターの構築	中学校校区ごと	東西2カ所	
地域ケア会議の運営	支援センターが中心		
協議体の運営	中学校校区ごとに 設立・運営	東中学校区	
介護・医療の連携体制	医師会等との連携		
新オレンジプランの推進	認知症サポータ養成 認知症カフェ開催		
生活支援コーディネータ 3職種の配置			